私達は何かの議論になった時、必ず反対と賛成の意見が出ます。賛成意見、反対意見とそれぞれの方が述べている時に、しっかりと話を聞くという姿勢はとても大事です。

しかしながら、私達は中々それが出来ていない。自分が聞きたくない様な意見には耳を塞いでしまいます。

私達妙智会員は、自分の話に賛同する方、そして反対する方にも同じく、最後まで耳を傾けて話を聞く事が大切であります。

また、寝間着姿や食堂でご指導の話をされる方がいらっしゃいます。

これは何度も良くないですよと指導をさせて頂きましたが、改めてお伝えするべきだと思ひまして、話をさせて頂きました。

しっかりと話したり聞く為には、きちんとした場所、服装で会話することです。

今のこの二つの話は、別のものではなく、共通するところがあるので、こういう話をさせて頂きました。

もう一つは、ご法名のお話をさせて頂きたいと思ひます。

ご法名はとてもありがたく、素晴らしいものです。

ですが、ご本尊さまや荒神さまもそうですが、受ける人や渡す人の心によって変わるので。

尊いものを尊く思わない方が順序して差し上げても、それは妙智會のご法名ではありません。ですから、結果が頂けないのです。

ここをもう一度しっかりと受け止めなければなりません。

そして受ける方も、ご法名を頂いて全てが解決したと思うのは間違いで、ご法名を頂くという事は、修行を頂くという事です。

ご法名を頂いた修行を尊く思い、感謝して、朝に謹読をして結果を頂くのが正しい事です。

あと方位方角の話になりますが、昔、女先生と私で担当させて頂いていた時がございました。

信者さんからお預かりした方位方角の用紙を、自宅のご法座へお持ちし、女先生と私でお経をあげさせて頂いておりました。

その後、女先生がお禳とお念珠をされて夜遅くまで方角をみて下さりました。

それを本部へお持ちし、信者さんへお伝えさせて頂いていたのです。

先ほどと同じように、方角を話す方と聞く方も心はきちんとしていないといけないのです。

お互いに尊いものを尊く思い、修行することをお願い致します。

また、山形教会の建て直しをさせて頂いている中、皆さまにおかれましては、大変なご努力をして頂いておりました、心から感謝申し上げます。